



# ITS世界会議 愛知・名古屋2004 報告

2004年11月

# ITS世界会議 愛知・名古屋2004開催の概要



## 【ITS世界会議として過去最大のスケール】

- ・2004年10月18日(月)～24日(日) 愛知県名古屋市にて開催
- ・会議登録者、来場者、全国関連行事参加者が当初目標を大きく上回った。

	従来	2004年愛知・名古屋実績
<b>開催規模</b> 会議登録 展示会来場 全国関連行事参加	3～4,000人程度 7～8,000人 前例なし	5,800人(目標 5,000人) 61,000人(目標 50,000人) 100万人(目標 50万人)
<b>参加大学数</b>	数大学	約20大学(50研究室)が出展 (過去最高)
<b>セッション</b>	700件程度 (マドリッド727件)	760件 初めてインタラクティブセッション設定
<b>ショーケース</b>	既存施設見学 中心	世界最先端のITSを新提案型 で紹介 複数のショーケースをツアー形式で 効率良く見せる



# オープニングセレモニーにおける日米欧のスピーチ



【日本の発言：豊田ITS Japan会長、秋篠宮殿下、小泉首相(代理スピーチ)、北側国土交通大臣(代理スピーチ)】

- ・ 日本のITSは、各システムが連携・融合し、ITSが浸透するセカンドステージへ入る。
- ・ IT戦略本部において、ITSについて戦略的に取り組み、10年間で交通事故死者数を5,000人以下にする。
- ・ 官民一体で、交通事故ゼロ社会、Livable Societyを目指す。

【米国の発言：N.Y.Mineta DOT長官(代理スピーチ)】

- ・ 安全対策が最も重要な課題。事故ゼロを目指すビジョンゼロを策定した。
- ・ VIIにおいては、路車間・車々間通信によるアクティブセーフティに取り組む。

【欧州の発言：B.Zepter 在日EC代表部代表】

- ・ ITSの新たなアプリケーションに向けて、Galileoの活用に関する研究開発を進める。
- ・ eSafetyでは2010年までに事故死者数を半減することを目標としている。



# ITS世界会議 愛知・名古屋2004の取り組み



## 【市民デーの様子】

- ・ 広く一般の人たちにITSを理解してもらうため、閉会後も展示期間を延長し、「市民デー」として展示場を公開
- ・ 10月23日(土)、24日(日)の二日間で約25,000人が来場



# ITS世界会議 愛知・名古屋2004の取り組み



## 【テクニカルツアー、ローカルツアーの様子】 ITSスマートタウンショーケース

- ・ 名古屋地域及び豊田市を対象に、我が国の最先端のITS 事例(ショーケース)を連続して視察・体験できるテクニカルツアーを企画
- ・ 日本各地および韓国、中国、シンガポールのITSを視察できるローカルツアーを企画
- ・ ツアー全体でのべ540人の参加者

ツアー名	参加者
TT1 エコポイントと歩行者支援ITSが導く環境・快適都市名古屋体験ツアー	51人
TT2 「街の、路の、車の未来を探しに行こう！」体験ツアー(豊田市)	65人
TT3 自動車走行・運転に関する安全性向上の最前線ツアー	33人
TT4 多目的DSRC体験ツアー	31人
TT5 最新の交通管制システム体験ツアー	7人
TT6 高度な公共交通と運行管理のITS体験ツアー	17人
TT7 ITS情報通信体験ツアー	中止
TT8 全ての車がつながるInternet ITSの世界	62人
TT9 愛・地球博ITS体験ツアー	71人
TT10 中部国際空港視察ツアー	32人
LT1~13 日本・アジア各地のITS視察ツアー	168人

